

白川郷荻町集落の自然環境を守る会 令和7年3月号

ね

そ



守る会ホームページ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi/>

白川村における茅の自給率向上に向けた取り組みが

日本茅葺き文化協会の会報「茅ふきたより」に掲載されました！

茅葺きの文化と技術の継承および振興を図る同協会が発行する会報に、村教育委員会尾崎達也氏が執筆した記事が、掲載されることになりましたので、以下にご紹介します。

コガヤ（カリヤス）の茅場の復元に向けて〔茅ふきたより 第34号2025.3より〕

白川村荻町の茅葺き屋根は、かつてはコガヤ（カリヤス）を屋根葺きの材料とし、山奥の傾斜地に家々で所有する茅場を利用してカヤカキ（茅の刈り取り）を行っていました。屋根の葺き替えには、大量のコガヤと労力が必要であったため、共同でコガヤを集め（茅頼母子講）、さらに結（ゆい）と呼ばれる労働交換によって行われてきました。

しかし、近年は生活様式の変化により、コガヤは御殿場からオオガヤ（ススキ）を購入するようになり、かつての結による屋根の葺き替えは、茅葺き職人の会社に委ねるようになりました。そしてコガヤは、主に屋根を補強するための差茅や棟部に用いられるに留まり、コガヤの茅場も減少傾向にあるなど、その数は減少し続けています。

本年、荻町の合掌造り集落は、1995年の世界遺産登録から30周年という節目を迎えます。この節目を機に、コガヤの茅場を復元し、失われつつある茅文化を再生させる取り組みを本格化させます。（2024年は手始めにコガヤの茅場の再生に向けて試験的に茅刈りをして茅場をきれいに刈り取りました。）地域住民や専門家と協力し、コガヤの栽培技術の継承や、茅葺き屋根の修理・葺き替え技術の向上を目指します。

これらの取り組みを通して、荻町の合掌造り集落を、伝統と文化が息づく魅力的な観光地へと発展させ、地域全体の活性化に貢献したいと考えています。



結による屋根葺き替え



日本茅葺き文化協会代表理事
安藤邦廣先生と共に復元したコガヤの茅場

良い記事ですね。村の取り組みを広く知っていただける、貴重な機会になるのではないのでしょうか。守る会としても、村と協力して茅の自給に取り組んでいきたいと思えます。また本年も、茅刈りイベントはもちろん、雪解けを待ち茅場の野焼き（火入れ）を実施する予定ですので、どうかご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

〈スペシャル企画〉茅屋根の担い手さんを直撃！

＼茅の調達に貢献！御殿場で茅の採取＆運搬を担う川田晋也さんにお話を聞きました！／

村に暮らし、守る会等の地域活動にも積極的に参加してきた川田さん。茅不足を目の当たりにして『なんとかしなきゃ！』という思いを抱き、3年ほど前から、村の茅場よりも広く、長期間茅採取ができる御殿場で活動をされていて、現在は年の1/3ほどを現地で過ごされています。茅採取と言っても、所謂「茅刈り」だけではなく、野焼き、焼ききれなかった茅の刈り倒しと下草刈り等、良質な茅を採取するため、1年を通して多くの仕事があるそうです。現地では独自のルールがあり、地元の方や職人さんに色々教わりながら、地道な努力が認められ、最近ようやくスムーズな活動ができるようになったといいます。

先般、御殿場で「合掌での生活や、白川郷と御殿場のつながりについて」お話される機会があり、20名近くの参加者が来てくれたそうです。白川村に来たことがある方も複数いたそうですが、村での暮らしに新たに触れて、とても満足して下さったのだとか。『観光では知り得ない村の魅力を外に伝える機会はなかなかないので、このような場を大切に、村のディープなファンを増やしていけたら』と、とても前向きな川田さん。

現在、様々な課題も見えてきて、『今後はいかに効率良く、1本でも多く良質な茅を採取していくか研究して行動していきたい。すぐに成果が出るものではなく時間がかかるけれど、覚悟をもって本気で挑みたい』と意気込まれていました。『御殿場で学んだことを村に持ち帰り、仲間やこどもたちにも伝えたいし、行政頼みではなく村民自ら行動していくことが、合掌を繋いでいくために必要である』とも語っていました。なかなか休む間もないそうですが、目を輝かせてお話される川田さんの姿に刺激をいただきました。自分にできることは何だろう。私たちひとりひとりが考えていけたら素敵やなと思いました。[聞き手：福田]

◆交代される委員さんからメッセージをいただきました！

久しぶりの大雪で日々の生活を営むこと自体が大変な中、今年度も委員の皆さんのおかげで、滞りなく定例会を開催することができました。委員を努めてくださった方から、守る会に参画して感じたことや、地域に期待することをお聞きしましたので、以下に紹介します。

今藤菜穂子さん（女性会）

1年間ありがとうございました。今、世界遺産があるのは、守る会の活動があるから守られてきたのだと実感しました。ルールを守る大変さと大事さを学び、この経験を女性会のメンバーやこどもたちにも伝えていきたいと思いました。これからも白川郷を守っていききたいし、守ってほしいです。

水木正美さん（女性会）

女性会の役員として守る会に参加させていただきました。たくさんの課題があり、1つ1つを皆様に協議し、解決していくことに、とても感心を持ちました。来年度は世界遺産登録30周年。今までの、そしてこれからの荻町区の皆様の協力があり、30周年を迎えることができるのだと思います。今後も若い世代へと引き継がれ、住みやすい村、日本一の村を皆の力で目指していけることを願いながら、自分にできることをやっていきたいと思っています。

和田めぐみさん（女性会）

女性会として守る会、財団の研修に参加させていただき、文化遺産を守っていく大切さ、守る会、他地域の取り組みなど大変勉強になりました。今後も守る会会員としてご協力させていただきたいと思っています。1年間ありがとうございました。

滝健一さん（東中組）

若き役員の方達にリスペクトしました！我が守る会は永久に不滅です。「我が」ということで、これからも自分事として、地域活動に参画していきたいと思っています。2年間ありがとうございました（弟よ頑張れ！！）。

…委員を努めてくださった皆さん、ありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。荻町に暮らす人全員が守る会の会員です。今後とも宜しくお願いいたします。

2月の活動報告 [※4月の定例会は10日\(木\)を予定（公民館和室にて）](#)

10日 定例会 11日 ねそ2月号発行（総務部） 随時 旧寺口家屋根雪下ろし・雪またじ

3月の協議事項（現状変更申請に関わって） 3月10日開催

*****車庫新築 *****住宅解体 *****仮設屋根の設置
*****池の修繕 白川村観光振興課・・・お天気カメラの設置期間延長
*****農業倉庫の建物解体及び敷地の改修
*****旧ライスセンターの建物外壁及び一部屋根張替え
*****金融本店の建物外壁の塗り替え（塗り直し）
*****Aコープ店舗の建物外壁と屋根庇の塗り替え（塗り直し）
*****旧ガソリンスタンドの建物解体及び敷地の改修
*****自動販売機の移動・2台のうち1台撤去